



正宮造替の石灯籠

平成26年4月22日指定



■ 所在地 霧島市隼人町内2496-1 鹿児島神宮

■ 所有者 宗教法人鹿児島神宮

■ 特徴

鹿児島神宮境内にあるこの石灯籠は、宝暦6(1756)年に奉納されたものです。

灯籠の両脚の内側には銘文が刻まれており、その概要は「正宮の宮殿などは慶長6年造り替えられたが、年数が経ち白蟻の被害により改築されることになった。改築は宝暦5年春に始まり、翌6年の夏に竣工した。これを記念して常夜灯を建てた。」とあり、正宮の造替を明示する貴重な資料です。

常夜灯として献灯されたこの石灯籠は、製作年代も明らかで、江戸中期から存続する希少な変形灯籠の一種であり、全国的にも非常にめずらしい二脚付の「琴柱(ことじ)灯籠」です。